



AIT 50th  
鉄人プロジェクト



AIT 愛知工業大学  
FURUHASHI  
LABORATORY

**学生によるリニモ沿線地域づくり活性化事業**

事業名  
「リニモやロボットで楽しもう！」

**「AIT鉄人プロジェクト・ロボットアート」**



「リニモやロボットで楽しもう！」
AIT鉄人プロジェクト・ロボットアート

## 1 AIT鉄人プロジェクトの紹介

**(1) AIT鉄人プロジェクトとは**  
2003年に、大学のイメージキャラクターである「鉄人28号」を実体化せようと、学生主体ではじめた活動で、古橋研究室にてその活動を支援している。

**(2) 活動の指針**

- ・「鉄人28号」の研究開発、またロボット工学の進化に必要な要素技術(RT【ロボットテクノロジー】)の研究開発を行う。
- ・研究開発成果を活用し、子供達への科学、工学へ興味を創出を促す活動を積極的に行う。
- ・RTが必要とされる社会のニーズまた、今後のシーズに対して積極的にアクセスし、研究成果を今後の社会創造すべき活動として行う。



鉄人プロジェクト AIT 50th in 2009

### (3) 活動の表現として

「鉄人28号」キーワードとしていることを活かし、子供たちへの科学、工学へ興味の創出の表現として、教育的エンターテイメントの手法を試みている。我々は教育的を、エディケーションとし、エンターテイメントと重ねて表現する造語である、エディティーマントとして活動を表現する。

トータルなロボットの研究表現として、ロボットの歴史表現にも研究を行い、各地でその成果を発表している。

### (4) 活動紹介

2010年の活動は、今回の企画の他におよそ20のイベントに参加しました。

AIT鉄人プロジェクトHPにて紹介しています。

<http://aitech.ac.jp/~furuhasi/robo/>



## 2 事業参加企画内容と目的

### (1) 企画の概要

**事業名** : 「リコモやロボットで楽しもう！」

**事業内容** : RT(ロボットテクノロジー)とリコモ駆動を楽しく学べるショーや体験展示イベント、絵画コンクールを行う。

**開催日** : 2010年12月11日(土)、12日(日)

AM10:00~PM3:00

参加費 無料



### 体験展示の構成

- ・レスキュークローラーによる、レスキューロボットの可動体験コーナー
- ・「ガッキンロボ」音がなる仕組みを作りながらロボット工作の体験学習するコーナー
- ・大鉄人の操作体験コーナー
- ・リニモの紹介VTR
- ・絵画コンクール作品展示
- ・古橋研究室で開発協力している知的体験ブロック「アソブロック」での制作体験
- ・AIT鉄人プロジェクトの研究パネル及びVTRでの展示
- ・AIT鉄人プロジェクトの研究題材の展示
  - I・ARプロジェクト
  - II・モリゾーロボ・キッコロボ
  - III・AIT鉄人4号JR
  - IV・正太郎ロボット
  - V・モンスター



### ロボットショーの内容

ロボット博士「ロボ太郎」が140cmの大型ロボット「AIT鉄人」やプロジェクトで開発しているロボットを紹介し、ロボットことが楽しく学べるロボット稼働デモンストレーション型ショー

開催時間 1日 2回開催 1回目11:30～  
2回目13:00～



## 絵画コンクールの実施

企画内容

テーマ:「ロボットから広がる未来の街を考えよう！」

対象 : 未就学児童～小学生

条件 : サイズ・四つ切画用紙 タイトルと作品に対する50文字以内のコメントを作品の裏に記載する。 (\*その他の条件は、チラシ裏面に記載)

紹介チラシ: 研究室にてデザインし35000枚作成

参加募集ポスター及び、チラシを東部丘陵線各駅に設置

\* 設置は愛知高速交通株式会社(リニモ)の協力にて実施

作品募集期間 : 11月1日(月)から12月5日(月)まで

受賞式 : 12月12日 11時から開催



## (2) 事業営業スケジュール

時期	実施内容
	チラシ制作準備～ ロボット制作～
10月18日(月)	チラシ制作入稿
10月22日(金)	チラシ完成
10月25日(月)	チラシ配布開始
11月1日(月)	絵画作品募集開始 駅にて募集掲載開始
12月5日(日)	絵画作品受付終了
12月6日(月)	審査(愛知工業大学にて)
12月7日(火)	入賞者に連絡
12月8日(水)	タチコマ AR事業のアプリケーションの配信開始
12月9日(木)	ロボット稼働最終調整
12月10日(金)	搬入物準備最終確認日
12月11日(土)	イベント当日 当日搬入 (大学7:00 現地8:30～) タチコマメンバーによる搬入サポート Nacky'sのスイーツイベント同時日開催(木田・飲食参加) * 中京TV ケーブルひまわりネットワークTV取材 読売新聞取材
12月12日(日)	授賞式 11時～ イベント終了後 撤収
12月19日(日)	こめ☆こめクラブイベント参加(西山・餅つき参加)
3月18日(金)	成果報告会にて発表

### (3) 事業目的と効果

#### ア 事業目的

RT(ロボットテクノロジー)やリニア駆動は、今後豊かな未来社会を支える重要なテクノロジーの一つと考えます。そしてこの愛知県のリニモ沿線に住んでいる子供達が未来に期待し、楽しんで科学・工学に触れることは、この地域においての今後の社会創造として重要なこととであり、我々AIT鉄人プロジェクトの指針でもあります。

また、リニモ沿線には、様々な教育的な施設があり教育的なエンターテイメントの活性化地域として、家族で楽しめる場であり「愛・地球博記念公園 地球市民交流センター」から発信する活動は、博覧会が行われたこの地域の活力として大きな意義があると考えます。

#### イ 地域づくりの観点から期待される事業効果

他の企画と相乗的に、リニモ沿線にある各施設の紹介などを行うなど、企画参加者には特質ある教育的なエンターテイメントが活性的な地域としての紹介が可能です。

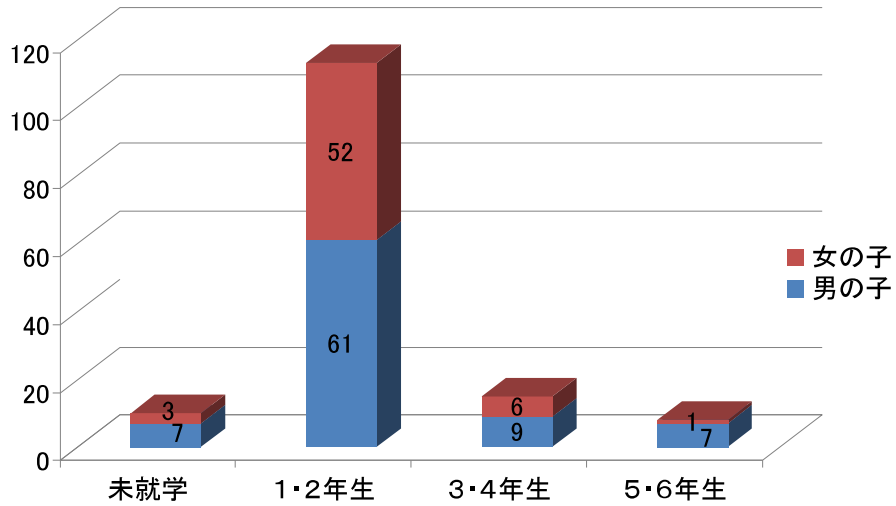
また、参加校によるネットワークの構築等が考えられます。当初計画していた1日1000人、2日間で2000人の参加人数を予測。

子どもたちに、リニモがどのように動いているかを知ってもらい、科学や工学に興味を持ってもらえることによって、より愛知県が「ものづくりの街」として発展すると考えます。



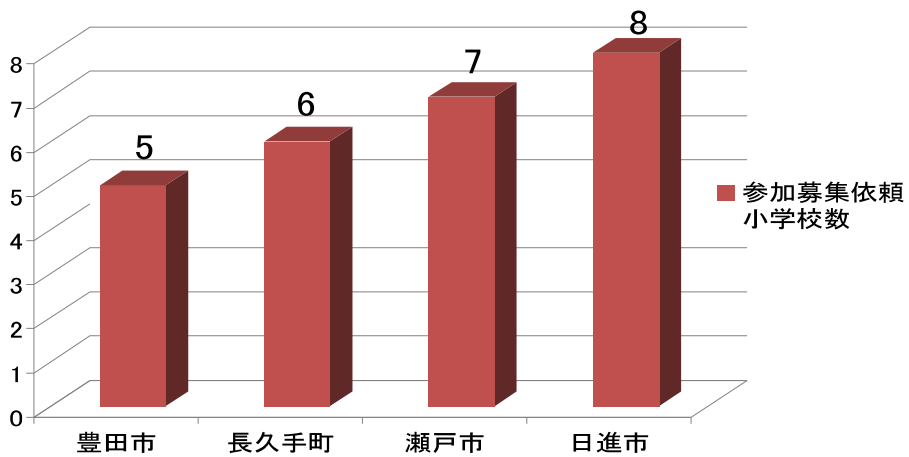
### ウ 参加状況の分析

#### 絵画コンクール参加者構成

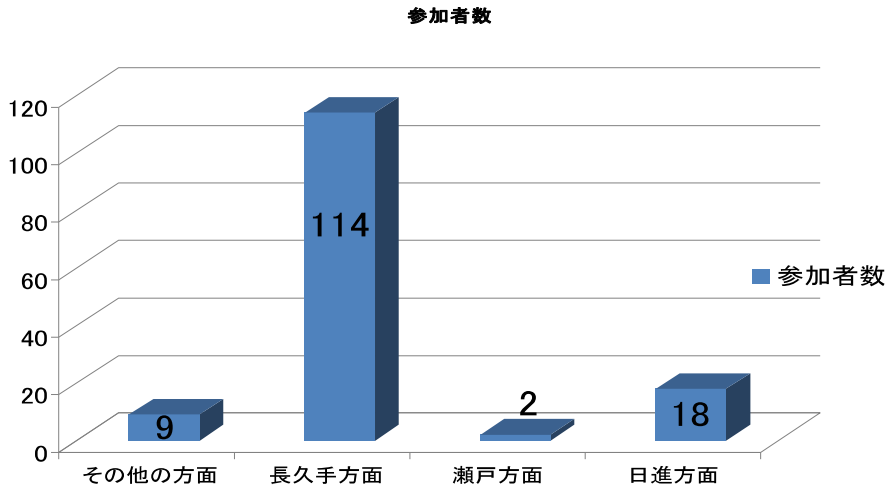


### ウ 参加状況の分析

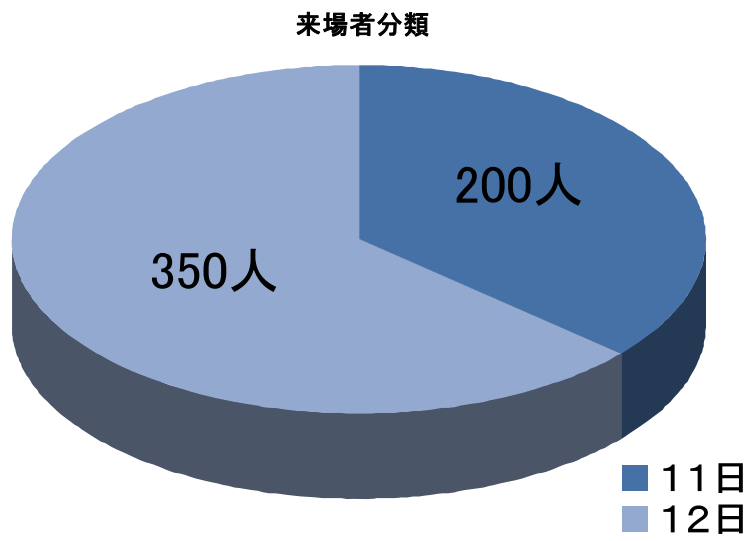
#### 募集エリアの分類



### ウ 参加状況の分析



### ウ 参加状況の分析



## エ 結果および考察

### 達成

当初予定していた2000人の参加人数には達成せず、約500人の参加人数であったが、絵画コンクールの参加者として143人の参加があり、子供たちが工学や、科学そしてロボットへの興味と期待を持って来場してくれた。

会場では工作の参加者が多く、活気のある会場となった。

参加者数として達成度は高いとは言い切れないが、内容としては充実感と、達成感のあるイベント内容となり、このイベントができたことが、一番の成果と判断できる。

### 反省点

イベント広報の準備が不足していたため、参加者が予測に達しなかった。また、絵画コンクールの募集開始時期が遅かったため、コンクールに協力していただいた学校では、対応に追われる結果になった。

事前の準備についても、会場が事前搬入できない点などを考慮し準備したにも関わらず、イベント初日の開始時間になっても一部展示物を展示できていない状態であった。事前搬入できない会場対策が展示特性からより必要となる。

チームの連帯感や、役割分担、会場当日の意識なども、ベストとは言える状態ではなかった。

### 課題

学生主体で大規模なイベントを行ったことがなく、イベント参加実績はあるがイベント運営ができていない点。

今回活動した成果を、地域のネットワークとして活かしていくなどしていくこと。

### 評価

イベントとしては反省点が多く、また明確な課題のある結果となったが、A I T 鉄人プロジェクトの指針からは、活動成果と考えることができた。

今回に向けて進めてきた開発物などの研究成果も出すことができ、総合的には評価のできる結果とみることができる。



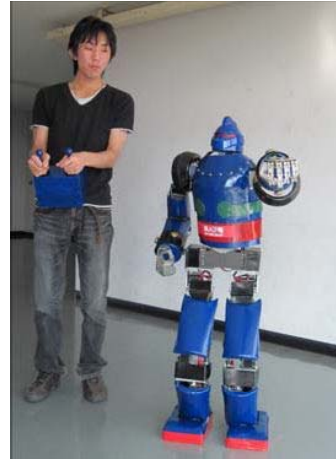
## まとめ

東部丘陵線「リニモ」は、愛知工業大学の学生の日常の足として活用され親しみがあり、その沿線地域は重要な活動の場である。

この地域の特性を考えるにあたり、そのポテンシャルの高さに驚きを感じる結果であった。教育的な施設が多くあり、教育的なエンターテイメントとして楽しむには、県内ではこれ以上ない地域のひとつである。

今後、この地域の活性化を考えるあたり、この特性を一番効果と打ち出し、安全で知的に楽しめる場としての得意性を強く打ち出し、他にない魅力を出していくことが必要である。

この学生による活動結果により、魅力あるリニモ、また愛・地球博記念公園の活用が広がることを期待する。



鉄人  
28号



### 鉄人プロジェクトメンバー

青山 頌也 石川 真也 伊藤 達矢  
 犬塚 洋樹 岡崎 友宜 小原 立也  
 加藤 剛大 河合 雄太 北村 卓哉  
 木村 匡佑 松林 佑 木田 沙和子